

令和 5 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人津別町社会福祉協議会

令和5年度 事業報告

I 事業報告の概要

令和5年度津別町社会福祉協議会の活動は、「第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画（令和2年度～令和6年度）」の4年次の取り組みを基に推進してきました。

5月に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に位置付けられましたが、コロナとは長く付き合うことになりました。地域では、感染症に適応した生活に変わってきています。このコロナ禍の約3年間で、廃用症候群から日常生活自立度が低下した方も増えてきましたが、今、地域サロンをみると、人数の変化はありますが、会話し、笑って楽しく参加している姿をみると、人との交流や繋がりは、とても大事なことだとみなさん実感しておりますし、3年ぶりに開催したサロン交流会は100名にもなる盛大なものとなりました。

さて、津別町の人口（令和6年3月31日現在）は、4,038人 高齢化率45.89%となり、令和5年度末に比べると人口は104人の減少で高齢化率は0.02%の増となりました。国立社会保障・人口問題研究所2023年推計では、津別町の人口は令和7年3,867人、令和17年2,934人と推計され、この人口の半数が65歳以上となります。令和6年度からの第9期津別町介護保険事業計画では、人口減で高齢者数も減少しますが、要介護認定者数は変化が少なく見込まれています。認定者数は変わらないとなると介護サービス（訪問介護）の利用者数も変化が少なく在宅生活にはサービスの維持が必要となり、ますます地域力、地域での支え合いが町を形成するには必要なことになっていきます。福祉計画で基本理念としています「助け合い見守りで安心して住み続けられるまちつべつ」を目指すためには必要なこととなります。今年度は、「おつきさま事業 ～おっ！ つべつで きんかい さがして まちづくり～」で住民同士の支え合い活動の継続・発展させていくため地域の強み、活動、資源を発掘していく事業に取り組みましたが、まだまだ金塊（優しさ・お宝）探しは、続きます。地域の金塊を探して

また、高齢者の単身世帯の割合は増加し、家族がいない、疎遠であったり関係が悪いなど、家族や親族に頼れない高齢者の増加が予測され単身化が進行することで、孤独・孤立の問題が広がります。人口減では地域の担い手不足も課題になってきています。長年にわたって地域のつながりづくりに取り組んできている社協は、社会変化に対応しながらも、自分の意思により参加したいと思えるような多様なコミュニティづくりが必要と考えています。令和3年度から取り組んでいる「重層的支援体制整備事業」は、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援ですが、この事業は地域づくりの一翼を担うものです。3年が経過しますが、毎年模索しながら取り組みを進めています。

今年度も、手をつなぐ育成会等との事業「豆のわプロジェクト会議」の活動はあ

りませんでした。地域住民や障がい者がともに活動を通し繋がり合う事業は、継続していきます。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

Ⅱ 重点項目

1 重層的支援体制整備事業実施による包括的相談支援体制の充実

(1) 重層的支援体制整備事業の中心的事業者としての活動

重層的支援体制整備の後方支援事業の協力依頼として北海道総合研究調査会から、津別町の事例報告を上砂川町で行って来ました。その他視察・調査協力に対応して来ました。令和3年度当初より事業実施している町としてきっかけや取組んで見えてきた課題やどう対応してきているのかを皆さんと一緒に学び共有して来ました。

今年度は、津別町のお宝探しを行いました。地域の活動を拾い集めてきておりますが、おしゃべりしているグループやお味噌や豆腐を作っているグループなどの情報も集まるようになりました。どう繋げていくかはこれからの課題ですが、基本理念のとおり誰もが安心して住み続けられるまちづくりを念頭に進めています。

また、居場所の開催も月2回開催しています。この居場所だけしか出てこない人やこれをきっかけに人と話すようになった方で人数は少ないのですが、変化がみられるようになりました。ちょっとずつ体験も交えながら、居場所を必要とするケースも様々ですが、受け入れ態勢を整えてきています。

(2) 相談支援包括化推進の役割と機能

行政の各相談窓口の職員との連携・調整を行いながら、支援会議を1事例、2回開催してきますが、重層的支援会議の開催はありません。また、町と社協での情報共有の場としての相談員支援会議を定例開催し、5事例の情報共有を行って来ました。

今年度は、北海道大学生や大阪公立大学院生の調査研究に協力し、また視察対応しています。

行政の窓口相談も含めそれぞれが数多くの相談に対応しています。支援会議に係るまでには至っていないケースも数多くありますので、行政との連携も図り整理しながら相談支援包括化推進員の役割は重要なものとなっています。

また、チラシ折り込みやホームページを利用し周知活動を行っていますが、LINEでの相談対応を行う中では、不安に思っていることを書き綴ってくる方の思いの受け止めを行っていました。

(3) 身近な福祉相談所ぽっと

地域づくり支援として、身近な福祉相談所ぽっとは、現在4カ所で開設し、地

域の課題把握に努めながら、支援者への見守り等を行っています。今年度は、先進地視察として①音更町社会福祉協議会、②十勝川下流防災施設を訪ねてきました。また、担い手対象の研修会や全体会議を、新規職員の勉強会を開催し、異動があっても継続していける態勢をとりながら手引書の作成に取り組んでいます。また、それぞれのぽっとの特長がありますので、特長を生かしながら地域の支え合いの継続に向け確認し合いながら進めています。

(4) ひきこもり者等社会的孤立者への支援

・居場所は、現在は月 2 回の開催とし、定期 2 名、不定期 1 名の利用です。スタッフも 3 名体制で再生封筒の作成し、役場や社協内で活用しています。また、見守り訪問用の絵手紙の色塗りやあぐりでの収穫物の袋詰めなどの活動をしています。その中で利用者の反応を確認しながら居場所での関係性を少しずつ構築しています。また、利用者は経験不足もあることから、活動範囲を広げドライブツアーを盛り込みながら活動しています。そこから次はこれをやってみたいという声が出てきました。

・社協あぐり（農園）作業では、現在、ひきこもり者等生活困窮者の方の参加はありませんが、あぐりの収穫物の重さを計り袋詰め作業を居場所の利用者に行っていたいただきました。

(5) 権利擁護に関する取り組みの充実

あんしん生活サポートセンターでの相談内容は、成年後見申立含み、福祉資金貸付相談、金銭管理等を継続して行っています。また、個人受任の市民後見人の年齢が高くなるにつれ、後見人の交代も検討課題になっています。

今年度は市民後見人養成研修を実施しましたが、3 名の修了者で 1 名が市民後見人名簿登録となりました。件数では、3 件の受任でしたが、今後も申立てが増えていくことが予想されますので益々市民後見人の力が求められております。

また、令和 5 年度から北見地域成年後見中核センターでの審査検討会で受任調整となり 14 回開催されました。

2 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み

・サロン活動では、現在地区サロン 11 地区、運動サロン 2 地区、合計 13 地区でサロン活動が展開されています。新型コロナウイルス感染症の影響で中止にしていた「サロン交流会」を 4 年ぶりに開催しました。他のサロンの方たちと楽しい時間を過ごされました。

また、サロンの立ち上げの相談が 2 件ありましたが、うち 1 件は、令和 6 年度 5 月の開催を準備しています。

・各地域での見守り活動では、身近な福祉相談所 4 カ所やサロン活動の他にも、幸町、新町自治会で独居高齢者の見守り活動や防災訓練時の災害時要支援者の

把握など自治会の取り組みが進められています。

- ・今年度実施したおつきさま事業では、地域の困り事や身の回りにある活動や明日からできることを話し合いながら、地域での活動（金塊）探しをしました。そこで集めてきた金塊紹介 BOOK を作成しましたが、今後も地域のお宝探しを行いながら住民同士の支え合い活動を継続・発展していけるよう事業の継続を図ります。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

登録者事前研修会を開催しましたが、今年度の新規登録者は 8 名でした。年度末登録者は 140（男性 46 名、女性 94 名）名となりました。

地域の支え活動の推進のため、事前登録研修会やフォローアップ研修会を通じて新たなボランティアの発掘を継続していきます。

また、令和 5 年度のポイント交換者は、65 人、190,000 円（令和 4 度 70 人、190,000 円）となり、コロナ感染症の影響等もあり受入機関等でのボランティア活動が少ないこともあり人数・交換ポイントにあまり変化がありませんが、100 ポイントを超えてボランティア活動を行ってくれる方が恒常的にいます。今後も、登録者は、人口の 1 割（403 人）を目指し、ボランティアの発掘といきいきと活動できるよう受入機関等を増やしていきます。

3 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援サポート事業の推進とコーディネーターの取り組み

・現在登録者 75 名となり、平成 30 年度からの活動者は 32 名となりました。すべての自治会にサポーターはいませんし、利用者とのマッチングが難しいケースもあり、サポーターの拡大が望まれるところです。また、サポート事業の利用登録者は 21 名で、実利用者は 6 名であり、利用状況は低いものとなっていますので、利用拡大に向けてや活動内容の検討などが必要となってきました。

また、ごみの搬出の依頼が増えてきています。収集日に出せなくなっている

・生活支援コーディネーター業務を町から受託しながら、サロンや自主団体活動への参加やまちづくりセンター運営協議会にも参加し、地域資源の発掘に取り組んでいます。コロナ禍の中、皆さんの生きがいを発掘するため、「私の宝物」として、社協の窓口を活用した作品展を開催してきました。また、生活支援体制整備協議体会議の開催や出前講座、サロン活動等を通じて、地域での支え合い活動や健康づくりの話をするなど地域づくりに向けた支援の取り組みを進めてきました。地域資源の把握に向けたアンケートを役場職員・社協職員で実施しましたが、わずかな結果となりました。次年度に自治会福祉委員などを交えた研修などで情報を集める計画です。

(2) 認知症の人と家族の支援など認知症地域支援推進員の活動

町受託事業である認知症地域支援推進員として2名で活動してきました。

認知症サポーター養成講座を2回開催し、一つは「ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練」と併せて開催し、模擬訓練での寸劇は、前回開催地の豊永第3自治会の方たちに行っていただきました。また、今年度も認知症普及月間に合わせて社協カウンター前で本の展示や認知症茶屋、家族介護者のため茶話会の開催や認知症サポーターステップアップ講座やフォローアップ研修も行いながら認知症の理解・普及啓発を行ってきました。

(3) 福祉有償運送事業（移送サービス）の実施

地域福祉実践計画の課題の一つであった要介護者等への移送サービスは、町の補助事業として福祉有償運送事業を平成29年7月から開始。事業登録者は令和5年度末で272人、実利用者も毎月50人前後の利用となり、定着した在宅福祉サービスになっています。また、町のタクシー利用助成券交付事業が始まり住み分けされてきています。

現在は、車いす利用者が増えてきている中、車いす対応車両（計3台）として現在、フル活動しております。現在、登録車両4台（1台は予備）で実運転手4人と社協職員5人がいますが、透析通院や他の病院通院など利用者の増から車両・運転手の確保などの課題が出てきています。現在は、できる範囲での対応としています。

(4) 既存の福祉サービス事業等の充実

今年度も社協役員、ボランティア、地域住民の皆さんのご協力により、給食サービス、ふれあい郵便の事業を推進することができました。

給食サービスは、配達ボランティアの協力を得て、月平均60名を超える利用者に週2回夕食を届けています。令和5年度は、実利用者81名の利用です。

今後も利用者の増が見込まれますが、配達ボランティアの確保や車の確保など検討が必要になってきます。

ふれあい郵便も少しでもみなさんに元気を届けたい、季節を感じてもらいたいとボランティアの協力で毎月170枚前後を郵便配達員や自治会で手渡しで配布しています。

4 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

今年度は、研修会等を通じて災害ボランティアセンターマニュアルの整備や災害救援用備品機材の確保などを検討し作成作業中で、町との協定については次年度の課題としました。

1月1日の能登半島を震源とする能登半島地震が危機感を強めましたが、津別町防災セミナー（津別町・社協合同開催）で一般町民向けと町職員・社協職員向けを2日間開催し、日頃からの気構えや災害時の対応の流れを学ぶことができました。

今後も、「福祉」と「防災」をつなぎ合わせて「福祉防災」として、平時でも災害時でも、あらゆる場面を想定した支援の仕組みについて考えてい

きます。

5 町内の社会福祉法人や介護・福祉事業所との連携強化

今年度も他の法人との協議の場はありません。

また、町と関係事業所との共同で取り組む介護福祉人材確保セミナーは、コロナ禍のため今年度も行うことはできませんでした。現在では、2 福祉事業所では外国籍の介護職員が勤めるようになり、町内の他の職場でも外国籍の方が働くようになってきています。誰でもが安心して働き続けられる、住み続けられる町であるように今後も、他の法人、介護・福祉事業所との連携を強めていく必要があります。

6 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 社会福祉協議会財政基盤の確立

法人運営の財政は、会費や寄付金と事業収入となっておりますが、会費や寄付金収入も厳しいものになっておりますが、今後も社会福祉協議会の理解と協力を努めてまいります。

引き続き事業の見直しを含め、財源の確保に向けアンテナを上げ財政基盤の確立を図っていきます。

(2) 広報活動の充実

社協だよりは、当初計画通り年 4 回発行を行ってきました。また、社協ホームページの更新のほか、LINE の活用も始め、情報発信や相談対応に努めています。

(3) 事務局体制の整備

今年度も欠員職員分の採用ができず、職員への負担は強いものとなりました。

権利擁護やひきこもり者支援など多様な事業展開が必要となり、職員に求められることが多く、職員の育成やレベルアップと職員の確保に取り組み、職員の負担軽減のためにも事務局体制の整備については喫緊の課題となっております。

社会福祉協議会会議

■正副会長会議

令和5年5月25日（木）山田会長、山内副会長、篠森副会長

■理事会

第1回 令和5年6月1日（木） 14:00 ~
出席者 理事12名 監事1名
第2回 令和5年6月26日（月） 15:30 ~
出席者 理事11名 監事1名
第3回 令和5年11月28日（火） 10:00 ~
出席者 理事11名 監事2名
第4回 令和6年3月7日（木） 10:00 ~
出席者 理事8名 監事2名

■評議員会

第1回 令和5年6月26日（月） 14:00 ~
出席者 評議員8名、会長、副会長1名 監事1名
第2回 令和6年3月27日（水） 10:00 ~
出席者 評議員7名、会長、副会長1名 監事1名

■評議員選任解任委員会

第1回 令和5年6月5日（月） 10:30~ 出席者 委員4名

■ボランティアセンター運営委員会

第1回 令和5年8月2日（水） 15:30~ 出席者 委員8名

■歳末支援金配分委員会

第1回 令和5年12月8日（金） 10:00 ~ 出席者 委員4名

■内部監査

第1回 令和5年5月18日（木） 9:00 ~ 決算監査 監事2名
第2回 令和5年7月31日（月） 9:00 ~ 第1四半期 監事2名
第3回 令和5年10月31日（火） 9:30 ~ 第2四半期 監事2名
第4回 令和6年1月31日（水） 9:30 ~ 第3四半期 監事2名

研修会・会議・打合せ等

■定例民協（原則毎月第2木曜日） 出席者 小野事務局長

■グループホームほのぼの運営推進会議

令和5年8月30日（水） 小野事務局長

令和5年9月27日（水） 小野事務局長

- 夢ふうせんのか・ほんき運営推進会議
令和5年5月31日(水) 小野事務局長
令和5年9月19日(火) 小野事務局長

- 社会を明るくする運動津別町推進委員会
令和5年6月8日(木) 山田会長

- 全道新任社協職員研修 講師派遣 寺尾主事
令和5年6月13日(火) 札幌市

- 管内市町村社会福祉協議会連絡協議会
令和5年7月5日(水) 網走市 小野事務局長

- 地域公共交通活性化協議会
第12回 令和5年6月13日(火) 14:00 ~ 欠席
第13回 令和5年10月5日(木) 書面会議
第14回 令和5年11月27日(月) 14:30 ~ 門脇次長
第15回 令和6年2月9日(金) 10:00 ~ 門脇次長
第16回 令和6年3月18日(月) 書面会議

- 全道市町村社協会長・事務局長研究協議会
令和5年7月18日(火) 山田会長、小野事務局長

- 安全運転管理者講習
令和5年7月25日(火) 美幌町 門脇次長

- 全道社協職員研究協議会
令和5年8月1日~2日(火・水) 札幌市 山口主事

- 社協事業(令和4年度)実績町長報告
令和5年8月22日(火) 山田会長、小野事務局長、門脇次長

- 社協運転手安全運転講習
令和5年8月29日(火) ボランティア室 参加者8名

- 3町ボランティア朋の集い
令和5年11月21日(火) 大空町東藻琴 参加者90名(内津別町13名)

- オホーツク管内市町村社協連絡協議会事務局長会議(北見ブロック)
令和5年11月21日(火) 津別町役場中ホール 小野事務局長

- オホーツク圏ボランティア活動推進会議
令和5年12月14日（木） 網走市 土屋委員長 山口主事
- オホーツク管内社協職員連絡協議会第2回正副会長・役員合同会議
令和5年12月15日（金） 山口主事
- 津別町新年交礼会
令和6年1月10日（水） 商工会 小野事務局長
- 管内社協職員連絡会議活動交流会
令和6年1月16日（火） 網走市総合福祉センター 山口主事
- 第1回津別町防災会議
令和6年1月23日（火） 健診ホール 門脇次長（代理）
- 高齢者虐待防止ネットワーク会議
令和6年2月28日（水） 健診ホール 門脇次長
- 第20回日本社会福祉学会フォーラム 講師 山田会長
令和6年3月2日（土） 札幌学院大学新札幌キャンパス

令和5年度 相談支援包括化推進事業実績報告

(1) ケース会議等

1) 津別町要保護児童対策地域協議会（個別ケース検討）

日 時 令和5年12月27日（水）

場 所 津別町役場 健診ホール

出席者 小野局長、立花係長

2) 事例検討会

日 時 令和6年2月6日（火）

場 所 多目的活動室

出席者 立花係長、寺尾主事

(2) 広報及び啓発、調査対応

調査対応

・日 時 令和5年6月16日

依頼先 北海道大学文学部人文科学科3年 納谷明里氏

内 容 津別町の重層的支援体制整備事業について
山田会長、立花係長

・日 時 令和5年7月14日（金）

依頼先 北海道大学学生団体 HALCC

内 容 津別町の福祉の事業について
立花係長

・日 時 令和5年8月9日（水）

依頼先 大阪公立大学大学院生調査
門脇次長

・日 時 令和5年9月11日～12日

内 容 「地域支援」場面における「ネットワーク」の有期的連動に関する
研究 ―福祉情報化の視点から―
立花係長

(3) その他

1) 視察対応

- ・日 時 令和5年9月27日(水)
依頼先 大阪公立大学 野村教授、暮らしづくりネットワーク北芝
ヒューマンライツ福祉協会、ナイス、AKY3地区合同会社
公益財産法人住吉隣保事業推進協会 など

- ・日 時 令和5年10月3日(火)
依頼先 鹿追町、鹿追町社会福祉協議会
内 容 津別町の重層的支援体制整備事業について
山田会長、小野局長、立花係長

- ・日 時 令和5年10月23日(月) オンライン
依頼先 認定NPO法人 シーズネット理事長 奥田龍人氏
内 容 津別町の重層的支援体制整備事業開始前の動きと実際について

2) 職員研修

令和5年度 生活困窮者自立支援制度都道府県研修現地参集研修編
令和6年2月8日～9日 札幌市
立花係長

令和5年度 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業実績報告

(1) アウトリーチ等を通じた継続的支援プラン作成件数 1件

初回プラン 令和3年7月15日作成

更新プラン (6回目) 令和5年7月19日作成 (5回目評価あり)

(7回目) 令和6年1月17日作成 (6回目評価あり)

(2) 周知活動

①ひきこもり支援の周知のためのチラシ折り込み

・家族対象

令和6年1月中旬に、経済の伝書鳩1,856部、北海道新聞1,000部
読売新聞500部のチラシを折り込む

・当事者対象

令和6年3月中旬に、経済の伝書鳩1,856部、北海道新聞1,000部
読売新聞450部のチラシを折り込む

②社協だよりでの周知

令和5年10月号にっぽサポートステーションの周知を行った。

③ホームページ

ひきこもり支援についての周知やLINE相談について掲載を継続している。

(3) 相談窓口の強化

令和4年度から、Eメール、LINEでの相談対応や、ホームページを利用してひきこもり等の相談窓口の周知を行っており、継続している。

ひきこもりの相談はなかったが、来所相談だけでなく、不安に思っていることなどをLINEがあったため、本人の思いの受け止めなどを行った。

(4) 職員研修

令和5年10月26日 北海道孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

第1回会議(オンライン)

小野局長

令和5年11月2日 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

令和5年度第1回シンポジウム(オンライン)

小野局長

令和5年12月11日 令和5年度第1回オホーツク圏域プラットフォーム会議

(網走市)

小野局長

令和6年2月22日、28日 北海道ひきこもりセミナー(オンライン)

小野局長、門脇次長、立花係長、山口主事、寺尾主事

令和6年3月19日 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム総会

(オンライン)

小野局長

令和5年度 多機関協働事業実績報告

(1) 支援困難事例や多職種連携による支援会議開催実績

1) 開催実績 1事例 2回開催

内訳 令和6年 1月 1件

3月 1件

2) 支援会議検討事例 「発達障がいのある世帯とその親世帯の支援について」

3) 招集メンバー 基幹相談支援センター、オホーツク総合振興局社会福祉課
津別町保健福祉課 津別町社会福祉協議会

(2) 相談員支援会議開催実績

1) 参加者 ・役場保健福祉課（健康推進係・福祉係・介護保険係・高齢者相談係）の管理職と係長職

・社会福祉協議会の管理職、係長職（相談支援包括化推進員）

2) 開催実績 9回

3) 協議内容 情報共有事例5事例（2事例が世帯）

情報共有後の経過報告

身近な福祉相談所「ぽっと」の活動について

生活支援体制整備事業「おつきさま事業」について

各係からの周知と情報共有について

(3) 重層的支援会議の開催

なし ※本人の同意が得られなかったため、支援会議で対応

(4) 講師・周知活動など

令和5年12月18日 上砂川町（依頼先 北海道総合研究調査会）

令和5年度 重層的支援体制整備事業にむけた後方支援事業（専門家派遣）

「津別町・津別町社会福祉協議会の取り組みについて」

「上砂川町の困難事例の模擬支援会議」

立花係長

(5) 職員研修

なし

令和5年度 地域づくり支援（共助の基盤づくり）事業実績

（1）身近な福祉相談所「ぽっと」

1）開催実績

現在、町内4か所で開催。

地域住民で構成させている担い手と、役場保健福祉課（健康推進係、福祉係、介護保険係、高齢者相談係）と社協職員、相談支援包括化推進員（立花）で構成。

① 旭町第3ぽっと（令和5年度から職員は偶数月に参加）

開催日 毎月第3水曜日 10:00～

構成メンバー 9名 内訳：担い手 6名（男性1名・女性5名）

職員 3名（役場2名・社協1名）

開催回数 12回

② 活汲中央ぽっと

開催日 毎月第2火曜日 10:00～

構成メンバー 12名 内訳：担い手 8名（男性6名・女性2名）

職員 4名（役場3名・社協1名）

開催回数 13回

※開催前の担当職員事前打ち合わせ 10回

・前回の振り返りと次回の方向性について

③ 豊永第3ぽっと（令和5年度から職員は偶数月に参加）

開催日 毎月第4水曜日 14:00～

構成メンバー 12名 内訳：担い手 9名（男性5名・女性4名）

職員 3名（役場2名・社協1名）

開催回数 12回

④ 緑町第2ぽっと（令和5年度から職員は第4木曜日に参加）

開催日 毎月第2木曜日・第4木曜日 10:00～

構成メンバー 10名 内訳：担い手 6名（男性4名・女性2名）

職員 4名（役場3名・社協1名）

開催回数 23回

※開催前の事前打ち合わせ 2回

・担い手と前年度の振り返りを行うための打ち合わせ

・担い手の情報共有に関する打ち合わせ

2) 身近な福祉相談所「ぽっと」先進地視察研修

日 時 令和5年5月29日～30日

行 先 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会
十勝川下流防災施設（十勝川資料館）

参加者 担い手12名 町1名、社協2名 計15名

内 容 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会

- ・コミュニティサポート事業について紹介
 - ・身近な福祉相談所「ぽっと」を紹介
 - ・コミュニティサポーターと「ぽっと」の担い手で意見交換
- 十勝川下流防災施設（十勝川資料館）
- ・北海道や津別の洪水や施設について説明を受け、施設を見学

3) 身近な福祉相談所「ぽっと」研修会（担い手対象）

日 時 令和6年2月29日 午後9時30分～正午

場 所 津別町役場 健診ホール

講 師 MIW工房 コミュニケーションナビゲーター 姉帯美和子氏

内 容 「<相談する>ってどんなこと？

～相談しあえる関係づくりのために～

参加者 24名（担い手15名 町職員4名 社協職員4名 その他1名）

4) 身近な福祉相談所「ぽっと」全体会議

日 時 令和5年8月1日 午後4時～午後5時5分

場 所 津別町役場 2階 健診ホール

内 容 令和4年度各ぽっとの振り返り・評価、令和5年度の各ぽっとの
目標、活動計画の全体共有

参加者 13名（役場8名 社協4名 その他HIT 切通調査部長（オンライン参加）

5) 身近な福祉相談所「ぽっと」勉強会

日 時 令和5年5月24日（水）午後4時15分～午後5時15分

場 所 津別町役場 多目的活動室

内 容 身近な福祉相談所「ぽっと」について

参加者 保健福祉課で「ぽっと」を担当する新規職員3名

6) 身近な福祉相談所「ぽっと」手引き作成について

- ・内容の打ち合わせ

日 時 令和5年4月25日

場 所 美幌町役場 多目的活動室

参加者 大阪公立大学 野村先生、立花係長

- ・暫定版配布について

令和6年1月に担当職員に配布

(2) 福祉教育

令和5年11月10日 津別小学校福祉教育打ち合わせ
立花係長

令和5年11月16日 津別小学校1年生(28名)
「昔のあそびをしよう」
小野局長、立花係長、ボランティア6名

令和5年12月5日 津別小学校3年生(29名)
「ふくしを知って自分ができることを考えよう」
立花係長

令和5年12月8日 津別小学校3年生(29名)
「寿大学との交流事業」
立花係長

令和5年12月11日 津別小学校5年生(32名)
「高齢者疑似体験」
門脇次長・立花係長・ボランティア6名協力

令和5年12月14日 津別小学校5年生(32名)
「車いす体験」
「認知症について考えよう」
門脇次長・立花係長

(3) 防災研修

1) 町民対象

日 時 令和6年3月13日(水) 午後1時30分～午後4時
場 所 津別町役場 健診ホール
講 師 社会福祉法人厚真町社会福祉協議会事務局長 山野下 誠氏
テ ー マ 「過去の地震の教訓から“今から”できる備えを考える」
参 加 者 33名(町民17名 関係機関5名 町職員4名 社協職員4名
その他3名)

そ の 他 終了後、石川県穴水町へ派遣されていた町職員から報告を行った。

2) 町・社協職員対象

日 時 令和6年3月26日 ①午前10時～正午 ②午後2時～午後4時
場 所 津別町役場 大会議室
講 師 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治氏
内 容 「平時からできる災害の備え そして実際の支援とは」
参 加 者 57名(町38名、消防12名 社協6名 その他1名)

(4) 講師・周知活動など

日 時 令和5年10月27日
場 所 さんさん館
依 頼 先 新町自治会
内 容 「生活をサポート 社会福祉協議会」
参 加 者 21名
立花係長

日 時 令和5年11月22日
場 所 豊永寿の家、津別町役場健診ホール
依 頼 先 北見市北部包括支援センター 生活支援体制整備事業協議体
内 容 「津別町の重層的支援体制整備事業について」
「豊永第3ぽっと見学、意見交換」
参 加 者 小野局長、立花係長、寺尾主事

(5) 職員研修

令和5年8月10日 令和5年度 全国福祉教育推進員研修（札幌市）
立花係長

令和5年9月8日 第169回市町村職員を対象とするセミナー（オンライン）
「防災と福祉の連携による被災者支援の取り組みについて
～災害ケースマネジメントの実践に向けて～」
立花係長

令和5年11月9日（木）～10日（金） 札幌市
北海道災害ボランティア初期支援者養成
資質向上研修会
門脇次長

令和5年度 津別町ふれあい・いきいきサロン事業 実績報告書

1、地区サロンの開催状況

サ ロ ン 名	開催回数	参加延人員	備 考
高台町ほのぼのサロン	12回	101名	
柏町いきいきサロン	8回	106名	バス利用
相生あいあいサロン	11回	83名	津別 HP リハビリ指導
本岐地区いきいきサロン	12回	163名	バス利用
豊永第4げんきサロン	12回	373名	かるっちゃ依頼
東達美いきいきサロン	12回	111名	バス利用
東町ふれあいサロン	12回	159名	
旭町第3おさんぽ・ぽっと	12回	166名	バス利用
活汲おげんきサロン	12回	153名	かるっちゃ依頼
共和にこにこサロン	12回	167名	バス利用
豊永第3こいこいサロン	12回	176名	
計 11地区	127回	1,758人	

2、地区サロン立上げ支援の状況

- ・共和第3自治会、幸町自治会からサロン立ち上げ希望の相談を受けている。
 サロン開催に必要な準備、各サロンの活動状況について情報提供する。
 必要に応じて職員派遣できること伝えている。

3、運動サロンの開催状況

①共和はつらつ健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	24人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	16人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	14人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	18人	高間運動指導士、スタッフ
8月	1回	8人	スタッフ
9月	2回	14人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	14人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、

			スタッフ
11月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	8人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	9人	スタッフ
2月	2回	16人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	18人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
計	21回	176人	

②西町さわやか健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	10人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	15人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	18人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	15人	高間運動指導士、スタッフ
8月	1回	4人	スタッフ
9月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	14人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	11人	高間運動指導士、スタッフ
12月	2回	13人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	5人	スタッフ
2月	2回	14人	高間運動指導士、スタッフ
3月	1回	15人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
計	21回	151人	

③参加記念マフラータオルの製作

参加意欲の向上、新規参加者確保のためマフラータオルを製作し参加者へ配布する。

4、サロン担当者会議の開催

日時・場所

令和5年4月19日(水) 10時00分から12時00分 津別町役場 健診ホール

内 容 ①各サロンの活動状況と課題

②助成金交付申請等について

③事務連絡(講師等派遣、福祉バス使用、レク用品貸し出し、サロン交流会開催について、感染対策について)

出席者 サロン運営者

高台町 2名・柏町 2名・本岐 4名・相生 1名・豊永第四 2名・東達美 1名
東町 1名・旭町第三 欠席・活汲 3名・共和第二 2名・豊永第三 3名
共和運動 1名（豊永第三と同一）・西町運動 1名
地域包括支援センター1名・社会福祉協議会 2名 合計 26人

5、サロン交流会の開催

日時・場所 令和5年9月13日（水）10時30分から13時 津別町中央公民館

内容 ①「かるっちゃ体操STEP」

指導 サロンスタッフ 藤岡氏・井村氏

②「ピアノ演奏と歌で交流しましょう！」

講師 西尾 朋子 氏（フォレストエコーズ西尾朋子ピアノ教室）

③「津別町からのお知らせ」

総務課 防災危機管理室

参加者 高台町 6名・柏町 4名・本岐 2名・豊永第四 14名・東達美 4名
東町 4名・旭町三 8名・活汲 9名・共和第二 4名・豊永第三 5名
共和はつらつ 3名・西町さわやか 6名
幸町自治会 3名（サロン立ち上げ検討中自治会）
関係機関含めて合計 96名
昼食賄い 津別町赤十字奉仕団の協力

新型コロナウイルス感染症等の感染防止のため、令和2年度から中止としていた「サロン交流会」を4年ぶりに開催する。「サロン交流会」は町内サロン参加者の交流とサロン内容の充実を目的としており、今年度も各サロンからの参加をいただいた。

昼食については、持ち帰り用のお弁当を津別町赤十字奉仕団の協力を受け用意する。

令和5年度津別町介護予防いきいきポイント事業 事業実績報告書

1. ボランティア登録者の事前研修、並びにフォローアップ研修の開催

登録者事前研修及びフォローアップ研修

日時 令和6年3月12日（火）午前10時～12時

場所 津別町役場 健診ホール

内容 講義「ボランティアをとおして地域とつながろう！」

講師 丸藤 競 氏

（一般社団法人みなみ北海道地域づくりサポートセンター代表理事）

事業説明（社会福祉協議会）

参加者 27名（新規登録者8名）

2. 介護予防いきいきポイント登録者の管理

【 令和5年度末登録者数 】

（年齢は登録時 単位：人）

年 齢	男	女	計
65歳以上	41	77	118
64歳～40歳	5	16	21
40歳未満	0	1	1
合 計	46	94	140

《 参考 令和4年度末登録者数 》

年 齢	男	女	計
65歳以上	35	76	111
64歳～40歳	6	16	22
40歳未満	1	1	2
合 計	42	93	135

令和5年度は、新規登録者が8人（男5人、女3人）増となった。

3. 介護予防いきいきポイント手帳の作成と登録者への送付

登録者事前研修終了後、新規登録者8人（男5人、女3人）の登録を行い、介護予防いきいきポイント手帳を送付した。

4. 指定施設の取りまとめとボランティアの提供支援

(1) 指定施設 (町内8事業所)

- ・社会福祉法人恵和福祉会 特別養護老人ホームいちいの園
- ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町デイサービスセンター
- ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町居宅介護支援事業所
- ・社会福祉法人津別福祉会 ケアハウスつべつ
- ・グループホームほのぼの
- ・小規模多機能ホーム 夢ふうせんのか
- ・津別町地域包括支援センター
- ・社会福祉法人 津別町社会福祉協議会

5. 評価ポイントの管理と換券手続き支援

(1) 令和5年度換券者数と換券金額 (単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	24	74,000	41	116,000	65	190,000
社協財源	—	—	—	—	—	—
合計	24	74,000	41	116,000	65	190,000

※社協財源該当者は、40歳未満登録者の活動分

《 参考 令和4年度換券者数と換券金額 》 (単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	27	76,500	42	108,500	69	185,000
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計	28	81,500	42	108,500	70	190,000

(2) 令和5年度換券者の活動内容

活 動 内 容	人 数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	37	624	37.5
給食サービス	15	438	26.3
社協事業 (集い他)	31	524	31.5
サークルぴゅあ	4	19	1.1
絵手紙	2	45	2.7
託児	0	0	0
特養いちいの園	0	0	0
デイサービスセンター (障がい含む)	3	5	0.3
グループホーム	0	0	0
ケアハウス	2	10	0.6
小規模多機能ホーム	0	0	0
介護予防教室	0	0	0
合 計	94	1,665	100.0

《 参考 令和4年度換券者の活動内容 》

活 動 内 容	人 数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	39	659	34.7
給食サービス	20	574	30.2
社協事業 (集い他)	37	526	27.7
サークルぴゅあ	5	23	1.2
絵手紙	4	75	3.9
託児	0	0	0
特養いちいの園	0	0	0
デイサービスセンター	1	13	0.7
グループホーム	0	0	0
ケアハウス	2	30	1.6
小規模多機能ホーム	0	0	0
介護予防教室	0	0	0
合 計	108	1,900	100.0

感染症防止対策について、サロン事業や社協事業は概ね再開している状況であるが、介護施設等への訪問には制限があるなかで取り組んできた1年間である。活動に対して、感染対策に対する個人の意識も強まっていることから、昨年同等の活動実績となっている。

また、サロン事業や給食サービス、絵手紙ボランティアなど、新規の活動者も増えており、活動者のモチベーションが保てるようサポートしていくことも必要である。

今後も感染症防止対策をしながら、ボランティアの発掘も含めて活動を継続していきたい。

令和5年度 津別町あんしん生活サポートセンター事業実績報告

(1) 成年後見制度等に関する相談及び利用支援

1) 相談内容（実人数の件数）

相談内容	件数
成年後見（申立て含む）	1
福祉資金貸付	9
金銭管理	3
虐待事案	1
生活不安	2
その他	3
合計	19

2) 成年後見等受任状況

①個人受任

受任月	被後見人等	後見類型	市民後見人	生活状況
平成25年5月	79歳女性	後見	中川孝敏・山内浩子	在宅
令和元年5月	85歳男性	保佐	相馬 由紀子 (津別社協との複数後見)	在宅⇒施設
令和2年10月	76歳男性	保佐	中田 千津子 (津別社協との複数後見)	施設
令和4年1月	83歳女性	後見	石井満・山田はる江	施設
令和4年1月	92歳女性	後見	福井 隆雅 (津別社協との複数後見)	入院中⇒死去
令和6年2月	74歳男性	保佐	小野 敏明 (津別社協との複数後見)	在宅

②法人後見受任

受任月	被後見人等	後見類型	後見支援員	生活状況
平成28年2月	93歳女性	後見	清水 恵・弁護士	施設
平成29年4月	90歳女性	後見	(未委嘱)	施設
平成31年1月	91歳男性	後見	土屋昇・土屋けい子	施設
令和2年7月	83歳女性	保佐	(未委嘱)・弁護士	施設⇒転居
令和3年1月	81歳男性	保佐	(未委嘱)	在宅
令和5年5月	96歳女性	保佐	(未委嘱)・弁護士	施設
令和5年12月	79歳男性	保佐	(未委嘱)	在宅

3) 申立支援状況

申し立て時期	被後見人等	後見類型	後見人等	生活状況
令和6年3月	64歳女性	後見	弁護士	在宅

- 4) 専門家アドバイザー利用について
・ともざわ法律事務所 友澤太郎弁護士 2 回利用

(2) 成年後見制度等に関する広報及び啓発

- 1) 視察対応等
なし
- 2) 講師対応等
なし
- 3) 広報及び啓発について
社協だより 4月号、7月号、10月号に「ご相談下さい」という内容で掲載

(3) 市民後見人の養成及び実務等研修の実施

1) 津別町市民後見人養成研修会

日 時 令和5年10月7日(土)～11月18日(土) 全11回
受講者 3名 修了者 3名 市民後見人名簿登録 1名

2) 津別町市民後見人フォローアップ研修

- ・日 時 令和5年11月17日(金) 午後2時～午後4時
場 所 津別町役場 健診ホール
内 容 講義・演習「本人の意思決定を支援するために
～本人を知り、本人の意思決定支援をみんなで考えよう～」
講 師 日本司法支援センター(法テラス)本部
常勤弁護士総合企画部付第一事業部付・総務部付
常勤弁護士 水島 俊彦氏

参加者 14名(養成研修修了者10名 事務局3名 その他1名)

- ・日 時 令和6年2月7日(水) 午前9時30分～11時50分
場 所 津別町役場 健診ホール
内 容 講義・演習「困った時は寄って集まってみんなで考えよう！
～本人を知り、明日からできることを考える パート2～」

講 師 札幌学院大学 人文学部人間科学科 特任教授 大久保 薫氏

参加者 18名(養成研修修了者13名 役場2名 事務局2名 その他1名)

3) 令和5年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会

日 時 令和5年11月14日(火) 午前10時15分～午後3時
場 所 美幌町民会館 3階 中ホール

基調講演 「初心にかえろう ～心のかけはしのつなげ方～」

講 演 北見赤十字病院 精神保健福祉士 伊藤智美氏

受任報告 北見市、紋別市、美幌町、津別町の市民後見人活動者
津別町は、市民後見人の山田はる江氏から報告

グループワーク 北見市の実事例を使い、グループワークを行った

参加者 45名(うち津別町参加者6名)

(4) 市民後見人候補者の登録、受任調整及び市民後見人への活動支援

1) 審査検討会

- 第1回 令和5年4月20日(火) 北見市総合福祉会館 体育集会室
- 第2回 令和5年5月16日(火) オンライン
- 第3回 令和5年6月20日(火) オンライン
- 第4回 令和5年7月18日(火) オンライン
- 第5回 令和5年8月22日(火) オンライン
- 第6回 令和5年9月19日(火) オンライン
- 第7回 令和5年9月28日(火) オンライン ※津別町事案
- 第8回 令和5年10月17日(火) オンライン ※津別町事案
- 第9回 令和5年11月21日(火) オンライン
- 第10回 都合により欠席
- 第11回 令和5年12月19日(火) オンライン
- 第12回 令和6年1月25日(木) オンライン
- 第13回 令和6年3月19日(火) オンライン ※専決案件報告(社協)
- 第14回 令和6年3月27日(水) オンライン ※専決案件報告(町)
立花係長、寺尾主事

2) 受任者調整(マッチング)依頼

- 2件 79歳男性 法人後見で受任
- 74歳男性 法人後見と市民後見人の共同受任

3) 市民後見人の適正な活動のための支援

- 定期報告の作成や被後見人等への支援方法などの支援を実施

(5) 成年後見制度等に関する関係機関等との連携

1) オホーツク管内権利擁護支援センター情報交換会

- 第1回 令和5年7月24日(月) オンライン
- 第2回 令和5年8月7日(月) オンライン
- 第3回 令和5年8月28日(月) オンライン
- 第4回 令和5年9月20日(水) オンライン
- 第5回 令和5年10月6日(金) オンライン
- 第6回 令和5年10月25日(水) オンライン
- 第7回 令和5年11月6日(月) 美幌町 しゃきっとプラザ
- 第8回 令和5年11月29日(水) オンライン
- 第9回 令和5年12月13日(水) オンライン
- 第10回 令和6年2月1日(木) オンライン
小野局長・立花係長・寺尾主事

2) 全国権利擁護支援ネットワーク運営協議会

- ・令和5年4月23日(日) オンライン
- ・令和5年11月18日(土) オンライン
- ・令和6年1月20日(土) オンライン

寺尾主事（北海道ブロック協力員）

- 3) 津別町高齢者虐待防止ネットワーク会議
 - ・令和6年2月28日（火）津別町役場 健診ホール
門脇次長
- 4) 家事関係機関との連絡協議会
 - ・令和6年1月23日（火）オンライン
立花係長
- 5) 津別町地域ケア会議（個別事例検討）
 - ・令和5年5月25日（木）津別町役場 中会議室
検討テーマ 「火災の危険性、判断能力の低下について」
立花係長、寺尾主事
 - ・令和5年10月20日（金）津別町役場 健診ホール
検討テーマ 「身体的虐待と判断した事例、今後の対応について」
小野局長、立花係長
- 6) ケース検討会議（町長申し立ての成年後見制度の検討）
 - ・令和5年5月25日（金）津別町役場 中会議室
検討テーマ「在宅生活継続のための方法について」
立花係長、寺尾主事
- 7) 個別ケース打ち合わせ
 - ・令和5年12月25日（月）津別町役場 中ホール
検討テーマ 「高齢者虐待事例の支援について」
小野局長、立花係長
 - ・令和6年1月29日（月）津別町役場 中ホール
検討テーマ 「高齢者虐待事例の支援について」
山田会長、立花係長

(6) その他センターの運営に関し必要な事項

- 1) あんしん生活サポートセンター運営協議会
 - ・令和5年10月24日（火）
協議案件 ・あんしん生活サポートセンター運営協議会委員の委嘱について
小野局長
 - ・令和5年12月8日（金）
協議案件 ・令和5年度あんしん生活サポートセンター事業報告について
・令和6年度あんしん生活サポートセンター事業計画について
小野局長、立花係長、寺尾主事

2) 日常生活自立支援事業契約状況

契 約 月	利用者	自立生活専門員	生活支援員
平成30年1月	71歳男性	門脇 隆司	寺尾 玲香

3) 津別町ほっと暮らしサポート事業契約状況

契 約 月	利 用 者	支 援 内 容	移行の制度
平成29年8月	71歳男性	金銭管理、負債整理	成年後見制度
令和元年6月	41歳男性	金銭管理	未定
令和2年2月	61歳男性	金銭管理	未定
令和4年1月	81歳女性	金銭管理	未定
令和4年2月	82歳女性	金銭管理	転居のため終了
令和4年7月	96歳女性	金銭管理	成年後見制度
令和4年9月	82歳女性	金銭管理	未定
令和5年6月	79歳男性	金銭管理	成年後見制度
令和5年8月	38歳男性	金銭管理	未定
令和6年1月	88歳男性	金銭管理	成年後見制度申立準備中

4) 成年後見中核機関に関する町との打ち合わせ

・令和5年7月5日

「令和6年度北見地域成年後見中核センターへの委託内容について」

立花係長

5) 北見市成年後見中核センター

・北見地域成年後見中核センター1市3町懇親会

令和5年4月20日 北見市総合福祉会館

立花係長

・北見地域成年後見中核センター第1回運営委員会

令和5年4月20日 北見市総合福祉会館

立花係長

6) 職員研修

①全国権利擁護支援ネットワーク北海道ブロック研修会

令和5年5月15日(月) オンラインにて

寺尾主事

②令和5年度「持続可能な権利擁護支援モデル」研修

令和5年12月6日(水)、12月8日(金) オンライン

立花係長、寺尾主事

③意思決定フォロワーモデルプロジェクト(仮)に関する打ち合わせ

令和6年1月25日(木) オンライン

立花係長 寺尾主事

令和5年度津別町認知症地域支援・ケア向上事業 活動実績報告書

1. 認知症地域支援推進員の配置

氏名 山 口 里 史 (主担当)
所 属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 総務・在宅福祉係主事
資 格 社会福祉士

氏名 門 脇 隆 司 (副担当)
所 属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 事務局次長
資 格 社会福祉士

2. 活動実績

- (1) 認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるような関係機関との連携を図るための取り組み
- (2) 当該推進員を中心に地域の実情に応じて、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や相談体制を構築する。

① 認知症サポーター養成講座の開催

1. ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の中で開催
令和5年10月26日(木) 13:00 ~ 14:00 講師 社協 山口主事
場 所 共和生きがいセンター 参加者12名

2. 認知症の人にやさしいお店の登録の為
令和6年2月7日(水) 13:30 ~ 15:30 講師 社協 山口主事
場 所 道の駅あいおい 飲食コーナー和室 参加者1名

② 認知症コーナーの設置や先進事例の普及

1. 認知症コーナーの設置 ~
 - ① 令和5年9月1日から9月30日までの1ヶ月間
場 所：津別町図書館カウンター前
 - ② 令和5年10月1日から10月31日までの1ヶ月間
場 所：役場内社会福祉協議会カウンター前
図書館より認知症に関連する本を借りて展示

2. オレンジ通信の発行 ~ 令和5年6月8日

③視察対応

令和6年1月15日(月) 10:00 ~ 12:00 役場 2階中会議室
訓子府町役場福祉保健課健康増進係 2名 来町
津別町役場 丸尾主幹、樋口係長、氏家主事 社協 山口主事 対応

(3) その他認知症の人やその家族を支援する取組。

① 認知症カフェの開催

令和5年 7月19日(水) 14:00 ~ 16:00 役場 健診ホール
令和5年 9月27日(水) 14:00 ~ 16:00 町民会館 1階大会議室
令和5年 12月13日(水) 14:00 ~ 16:00 ちゃのま
令和6年 2月21日(水) 14:00 ~ 16:00 役場 健診ホール

② 家族介護者のための茶話会

令和5年 8月30日(木) 13:30 ~ 15:20 役場 多目的活動
参加者 3名
令和5年 11月15日(水) 13:30 ~ 15:30 役場 多目的活動
参加者 2名
令和6年 2月15日(木) 13:30 ~ 15:15 役場 健診ホール
参加者 2名

③ ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の開催

令和5年 10月26日(木) 13:00 ~ 16:00 共和生きがいセンター
参加者 12名
スタッフ 12名(豊永第3自治会、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター
社会福祉協議会、津別交番)
内 容 認知症サポーター養成講座「認知症を学び、地域で支えよう」
寸劇「トミおばあちゃんの探し物 2023」
メール配信システムの説明 ・ 徘徊高齢者への声かけ訓練

④ 認知症サポーターステップアップ講座

令和5年 11月30日(木) 13:30 ~ 16:00 講師 社協 山口主事
場 所 津別町役場 健診ホール 参加者 12名

⑤ チームオレンジ立ち上げ会議

令和5年 8月23日(水) 14:00 ~ 15:00 講師 社協 山口主事
場 所 津別町役場 健診ホール 参加者 12名

(4) 厚生労働省が示す認知症地域支援推進員研修会を受講し、資質の向上に努める。

- ① 認知症地域支援推進員研修の受講（オンライン研修） 出席者 山口主事
 現任者研修 令和5年8月24日（木） 9：30 ～ 16：30
 令和5年8月25日（金） 9：30 ～ 16：00
- ② 共生と予防を考える地域づくりミーティング（オンライン研修）
 令和5年5月19日（金） 15：00 ～ 16：00 出席者 山口主事
- ③ ステップアップ講座に向けたフォローアップ研修（オンライン研修）
 令和5年9月4日（月） 14：00 ～ 16：00 出席者 門脇次長
- ④ キャラバンメイト養成研修 札幌市 かでる2・7
 令和5年9月25日（月） 10：00 ～ 17：15 出席者 門脇次長
- ⑤ チームオレンジの効果的実践に関するセミナー（オンライン研修）
 令和6年10月13日（金） 13：30 ～ 17：00 出席者 門脇次長 山口主事
- ⑥ 認知症地域支援推進員「すいしんいんセッション」（オンライン研修）
 令和6年2月26日（月） 15：00 ～ 17：00 出席者 山口主事

認知症の人にやさしいお店登録事業

町の方で実施要綱が整備され、令和元年月より事業開始

登録店は、14店舗（令和6年3月31日時点）

	事業所名	登録月	備考
1	加藤信陽堂薬局	令和元年10月	
2	増田呉服店	令和元年10月	閉店
3	津別郵便局	令和元年10月	
4	さんさん館カフェ	令和元年10月	
5	丸玉木材（株）津別病院	令和元年12月	
6	カフェJIMBA	令和元年12月	研修者不在
7	北見信用金庫津別支店	令和2年1月	
8	本岐郵便局	令和2年3月	
9	JA つべつ	令和2年7月	
10	カフェ&ランチ ちゃのま	令和2年8月	
11	（株）津別総合管理センター	令和2年8月	
12	北見相生郵便局	令和2年10月	
13	道東テレビ	令和2年10月	
14	網走信用金庫津別支店	令和2年10月	
15	オホーツク珈琲舎幾島珈琲研究所	令和3年3月	
16	（株）相生振興公社 道の駅あいおい	令和6年2月	

令和5年度 津別町生活支援体制整備事業 実績報告書

1、生活支援コーディネート等に関する業務

(1) 支え合いのまちづくりに向けた打ち合わせ

①令和5年6月29日(木) 16:00~17:00 役場 中会議室

既存事業の運営、おつきさま事業の運営、協議体会議の開催、生活支援サポート事業(丸尾主幹、伊藤係長、樋口係長、佐々木係長、小野局長、門脇次長、寺尾主事)

②令和5年11月17日(金) 10:00~11:00 役場 中会議室

パンフレット作成について、次年度フォーラムについて、サポーター研修について(丸尾主幹、伊藤係長、樋口係長、佐々木係長、小野局長、門脇次長、寺尾主事)

(2) 地域資源の発掘、サロン活動等既存の通いの場への活動支援

- ・地域サロン 11か所 ・運動サロン 2か所 ・老人クラブ 12クラブ
- ・サークルぴゅあ例会(年4回)
- ・自主団体(ボランティア等)活動への参加

(おりづる会、絵手紙サークル、津別町赤十字奉仕団、音楽活動サークル、さつき会、旭町縫い物の会、フォークダンス研究会)

①新規サロン検討会や老人クラブ・自治会出前講座にて、津別町の支え合いの取り組みについて紹介する

②社協だより等広報誌を活用し、地域の取り組みについて情報発信を行う

③支え合いの担い手確保のため、ボランティア養成研修、ボランティア募集を行う

④コロナ禍、自宅でできる生きがいづくりを発掘するため、作品展を開催する
町民へ作品を募集し、R3.12より展示(令和5年度 3作品展示)

(3) 関係機関との情報共有、会議等への出席

①介護サービス事業者連絡会議(寺尾主事出席)

②在宅医療・介護連携推進会議(寺尾主事出席)

③まちづくりセンター運営協議会(寺尾主事出席)

④七夕まつり実行委員会(門脇次長、寺尾主事出席)

⑤アイスクャンドルまつり実行委員会(門脇次長、寺尾主事出席)

(4) 生活支援サポートセンター事業の実施

生活支援サポートセンター実績報告書へ記載

(5) おつきさま事業 ～おっ！ つべつで きんかい さがして まちづくり～の実施

※安心して暮らし続けられるまちを目指し、住民同士の支え合い活動を継続・発展させていくため、地域の強み、活動、資源を発掘していく事業

①おつきさま事業研修会

令和5年7月21日(金) 13:30～16:00 津別町中央公民館 講堂

参加者 29名(自治会役員、自治会福祉部長、民生委員、ぽっと担い手、協議体委員)

訓子府町役場より1名参加

- ・事業説明(社会福祉協議会)
- ・グループワーク(地域の困り事、身の回りにある活動、明日からできそうなこと)

②支え合いのまちづくりフォーラム

令和5年9月28日(木) 13:30～16:00 津別町中央公民館 講堂

参加者 34名(自治会役員、自治会福祉部長、民生委員、ぽっと担い手)

置戸町役場より1名参加

- ・基調講演「地域の力を活かしたまちづくり～いつもの活動が支え合い～」
講師 池田 昌弘 氏(NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター)

- ・わたしたちの活動(金塊)発表会

発表者 活汲おげんきサロン(高橋ア、後藤千、大矢根裕)

豊永第3見守り訪問隊(添田秀、添田幸、藤村勝、藤村俊、巴光、巴敏
上山勉、上山栄、横山)

- ・津別町の活動(金塊)紹介パネル展示

③おつきさま事業金塊紹介BOOK作成

A4サイズフルカラー 12ページ 中綴じ冊子 2,500部

印刷業者:北海道つべつまちづくり株式会社

2、生活支援体制整備協議体に関わる関係者間とのネットワークの構築

(1) 津別町生活支援体制整備推進協議体会議の開催

①協議体会議

令和6年3月22日(金) 10:00～11:30 役場 健診ホール 構成員 11名出席

- ・支え合いの取り組みについて事業報告
- ・意見交換
- ・令和6年度協議体委員推薦について

②協議体構成員

- ・特別養護老人ホームいちいの園 ・津別町居宅介護支援事業所
- ・津別町デイサービスセンター ・グループホームほのぼの ・ケアハウスつべつ
- ・夢ふうせんのか・ほんき ・株式会社びーと ・津別町手をつなぐ育成会
- ・津別病院 ・加藤信陽堂 ・土田薬局 ・津別町地域包括支援センター
- ・津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会

(2) 情報交換会への参加

①オホーツク管内生活支援コーディネーター情報交換会 寺尾主事出席

・令和5年11月21日(火) 13:00~15:30

遠軽町芸術文化交流プラザ メトロプラザ小ホール)

(※事前打ち合わせ 令和5年9月20日(水)、令和5年11月13日(月) オンライン

寺尾主事 協力員として事前準備から参画)

3、生活支援コーディネーターの配置

主担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 寺尾 玲香 (社会福祉士)

副担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 係長 立花 さおり (社会福祉士)

4、生活支援コーディネーター研修等への参加

(1) 研修日程と内容

①令和5年12月12日(火) 10:00~16:00

オホーツク総合振興局 3階2号会議室

・生活支援コーディネーター養成研修(応用編) 寺尾主事出席

5、出前講座、講師対応等

(1) 日程と内容

①令和5年6月23日(金) 13:30~14:30 役場ボランティア室

・標茶町地域包括支援センター職員視察 寺尾主事対応

②令和5年10月28日(土) 11:30~12:30 初音鮎

・緑町第1自治会福祉の集い出前講座(地域の支え合い活動について) 寺尾主事対応

③令和5年11月22日（水）13：00～15：00 役場健診ホール

豊永第3身近な福祉相談所ぽっと

- ・北見市北部地区地域包括支援センター（協議体委員）視察
小野局長、立花係長、寺尾主事対応

④令和5年12月17日（日）11：30～12：30 柏寿園寿の家

- ・柏町自治会元気ハツラツ会出前講座（地域の支え合い活動について）寺尾主事対応

令和5年度 津別町生活支援サポートセンター事業 実績報告書

1、生活支援サポーター研修の開催

(1) 生活支援サポーターフォローアップ研修

令和6年3月12日(火) 14:00~16:00 津別町役場 健診ホール

講義「ちょこっとサポートで自分も元気に！」

講師 丸藤 競 氏 (みなみ北海道地域づくりサポートセンター 代表理事)

参加者 17名

2、生活支援サポーター登録者の管理

(1) 生活支援サポーター 登録者 75名 (延べ登録者 88名) ※別紙名簿のとおり
実活動者 32名

(2) サポーター登録証、ポイント手帳の配布

養成研修を修了し、登録したサポーター全員に対し登録証と手帳の配布を行っている。

3、サポート事業利用者の管理

(1) 利用登録者数 21名 (延べ登録者 48名)

令5年度 実利用者 6名

(2) 利用実績

	実利用人数	延利用人数	活動時間(分)	延べ活動サポーター数
4月	2	3	90	2
5月	0	0	0	0
6月	2	2	90	3
7月	2	2	90	3
8月	1	2	60	1
9月	3	4	150	5
10月	1	3	90	1
11月	0	0	0	0
12月	1	2	60	1
1月	1	2	60	1

2月	3	3	90	3
3月	3	8	240	3
計	19	31	1020	23

(3) 活動内容

- ・ごみ出し
- ・窓ふき
- ・風呂掃除
- ・お話し相手

(4) チケット利用実績

- ・31枚 (×100円) = 3,100円

4、利用チケットの販売

(1) 生活支援サポートチケット

- ・1セット：30分100円×5枚つづり (500円)

(2) 販売実績

- ・12セット (×500円) = 6,000円

5、サポーターと利用者のマッチング、活動支援

臨時職員

- ・利用希望者との面談を行い支援内容の確認
- ・利用者からの要望・相談対応
- ・サポーターとの連絡調整
- ・サポーターからの相談対応

6、ポイント管理と換券手続き

- (1) ポイント商品券交換申請者 2名
- (2) 換券額 2,500円

令和5年度 参加支援事業実績報告

(1) 生活困窮者（ひきこもり者等）を対象にした「居場所」の運営

1) 開催日時

- ・開催日 月2回
- ・利用者 定期2名 不定期1名
- ・開催時間 午前10時から正午

2) スタッフ

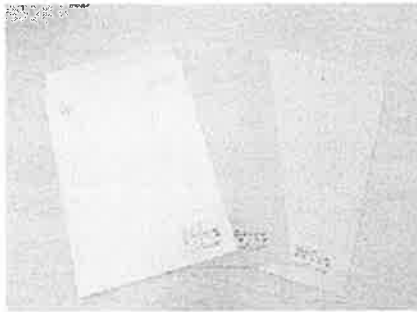
- ・支援員（元町保健師、ヘルパー資格者など）3名
(4/18～シフトで2名勤務体制)
- ・社会福祉協議会 相談支援包括化推進員

3) 居場所開所日と参加状況

開所日	当事者	支援員	関係者	合計	作業内容
4月 4日	3	3	1	7	メモ帳作成
4月18日	1	2	2	5	絵手紙の色塗り
5月 1日	2	2	2	6	再生封筒作成
5月16日	1	2	3	6	絵手紙の色塗り
6月 1日	2	2	2	6	絵手紙の色塗り
6月20日	2	2	1	5	ドライブツアー（ノノの森）
6月30日	2	2	1	5	絵手紙の色塗り・ポップコーン袋づめ
7月18日	0	2	1	3	再生封筒作成
8月 1日	2	2	1	5	絵手紙の色塗り・ポップコーン袋づめ
8月22日	2	2	1	5	再生封筒作成
9月 1日	2	2	1	5	枝豆袋づめ・絵手紙色塗り
9月19日	2	2	1	5	ドライブツアー（留辺薬）
9月29日	3	2	1	6	絵手紙色塗り・再生封筒作成
10月17日	1	2	1	4	再生封筒作成
11月 1日	2	2	1	5	絵手紙色塗り
11月21日	2	2	1	5	あぐり黒大豆選別
12月 1日	3	2	1	6	黒大豆選別と袋づめ
12月19日	2	2	1	5	絵手紙色塗り
12月25日	3	2	1	6	再生封筒作成
1月16日	1	2	1	4	絵手紙色塗り
2月 1日	2	2	1	5	絵手紙色塗り
2月20日	2	2	1	5	絵手紙色塗り
3月 1日	2	2	1	5	切り干し大根袋詰め
3月19日	1	2	1	4	ポップコーンむき
計	45	49	29	123	

4) 作業内容

- ・ 役場、社協に届いた封筒を利用し、再生封筒の作成



- ・ 社協あぐりの収穫作物の袋づめ作業など



- ・ 絵手紙の色ぬり
旭町第3自治会の訪問活動時に配布



5) ドライブツアー実施

町外への外出や余暇活動など目的にドライブツアーを実施。

- ・ 第1回 日時 令和5年6月20日(火)
行先 ノンノの森ネイチャーセンター (津別町上里)
参加者 利用者2名 支援員2名 職員2名 計6名



- ・第2回 日 時 令和5年9月19日(火)
- 行 先 道の駅おんねゆ 山の水族館(北見市)
- きっちん木の実 (置戸町)
- 利用者2名 支援員2名 職員1名 計5名



(2) 中間的就労の場「社協めぐり」

1) 作業経過

月 日	業 務 内 容	備 考
令和5年 5月6日	ロータリーかけ(大野 権氏)	
5月15日	めぐり打ち合わせ (ボランティア10名、社協3名)	
5月17日	畑おこし、肥料まき (ボランティア3名)	
5月18日	種植え(ピュアホワイト、ゴールドラッシュ、 ポップコーン、黒大豆、じゃがいも) (ボランティア5名、社協2名)	
6月15日	黒大豆苗たて (ボランティア3人、社協2人)	
6月21 ~25日	水やり(黒大豆苗たて) (社協2名)	
6月27日	苗植え(黒大豆) 草取り(ピュアホワイト、ゴールドラッシュ、 黒大豆、じゃがいも、かぼちゃ) (ボランティア4名、社協3名)	
6月30日	苗植え(黒大豆・コールラビ・ポップコーン) 種植え(人参) (ボランティア4名、社協2名)	
7月10日	肥料まき(黒大豆、ポップコーン) (社協2名)	
7月11日	耕運機かけ (ボランティア1名)	
7月12日	網走農業改良普及センター美幌支所に大根 の虫食い対策の土壌改良について相談 (ボランティア2名、社協1名)	
7月21日	ロータリーかけ(大野 権氏)	

7月25日	草取り（黒大豆） （ボランティア8名、社協3名）	
7月31日	肥料まき（大根スペース） （ボランティア3名）	
8月15日	種植え（大根） 収穫（コールラビ） （ボランティア3名、社協2名）	
8月21日	農薬散布 （ボランティア2名）	
8月30日	収穫（じゃがいも、とうきび） （ボランティア6名、社協1名）	津別小学校2年生収穫体験。収穫したじゃがいもを給食センターに寄付
9月1日	収穫（枝豆、とうきび） （ボランティア7名、社協2名）	
9月7日	網囲い（ポップコーン） （ボランティア1名 社協1名）	
9月22日	草取り（大根、黒大豆） （ボランティア8名、社協3名）	
10月17日	収穫（大根、かぼちゃ） 豆かり（黒大豆） （ボランティア11名、社協3名） 豆積み（青大豆、黒大豆） （ボランティア3名、社協2名）	
10月27日	豆落とし（青大豆） （ボランティア1名、社協2名）	
11月1日	豆落とし（黒大豆） ポップコーン刈り （ボランティア12名、事務局2名）	
11月7日	大根収穫、黒大豆刈り、豆落とし （ボランティア12人、社協3人）	
11月28日	豆より（黒大豆） （ボランティア4名 社協2名）	
11月29日	豆より（黒大豆、青大豆） （ボランティア5名、社協2名）	
12月26日	大根掘り出し、大根洗い （ボランティア1名、社協1名）	
12月28日	切干大根に加工 （ボランティア6名 社協2名）	

2) ボランティア実人数 15名 （延べ人数 125名）

3) 社協あぐりの作業



4) 津別小学校から、種植え、苗植えのボランティア依頼について

津別小学校2年生の生活科の授業で野菜づくりを行うため、あぐりのボランティアにサポートの依頼があり対応。

令和5年4月24日 津別小学校福祉教育打ち合わせ
立花係長

令和5年5月22日 津別小学校2年生（16名）

「トマト、スイカ、かぼちやの苗植え」

立花係長 ボランティア3名（苗植えサポート）

令和5年5月24日 津別小学校2年生特別支援学級(2名)

「大豆の種植え」

立花係長、ボランティア1名(種植えサポート)



令和5年8月30日 津別小学校2年生(13名)

「じゃがいもの芋ほり」

小野局長、立花係長、ボランティア6名

(じゃがいも堀りサポート)



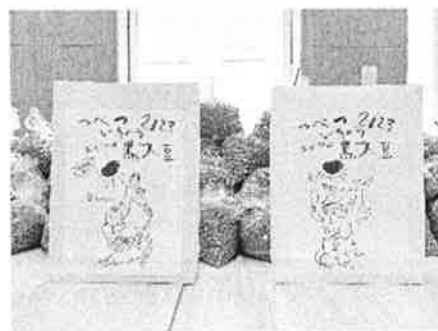
5) 収穫した野菜を使っでの寄付活動

- ・収穫した枝豆や大根を使っでの切干大根、ポップコーンを作成
- ・枝豆、加工した黒大豆、切干大根、ポップコーンは、居場所で袋づめなど行い、役場や社協職員から寄付を募った。

・枝豆



・黒大豆



・切干大根



・ポップコーン



6) ひきこもり者など支援についての学びと普及啓発
なし

(4) 関係機関等との打ち合わせ
なし

(5) 職員研修

令和5年6月7日～9日

令和5年度一般技術講習会食品衛生の基礎・衛生検査セミナー
立花係長

福祉有償運送事業

■福祉有償運送事業

- ・自家用有償旅客運送者登録関係（福祉有償運送）
 - 登録番号 北北福第 30 号
 - 登録年月日 平成 29 年 6 月 21 日（北運企第 129 号）
 - 登録の有効期間 2022 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日
- ・車両台数 4 台（内車イス対応車 3 台）
 - ~~王藤王務店寄贈車（車イス対応車）~~ 令和 4 年 11 月廃車
 - 津別町無償貸与車（車イス対応車）
 - 24 時間テレビ寄贈車（車イス対応車）
 - 北海道リースレンタル車（車イス対応）
 - 社協活動車（予備車）
- ・運転手 11 名（内事務局 5 名）
- ・登録者数 272 名（令和 6 年 3 月末）
- ・利用実績（令和 5 年度）

4 月	実利用人数	41 名	延利用回数	202 回	利用金額	237,800 円
5 月	実利用人数	40 名	延利用回数	166 回	利用金額	152,960 円
6 月	実利用人数	43 名	延利用回数	207 回	利用金額	222,780 円
7 月	実利用人数	43 名	延利用回数	201 回	利用金額	206,940 円
8 月	実利用人数	40 名	延利用回数	215 回	利用金額	203,020 円
9 月	実利用人数	45 名	延利用回数	210 回	利用金額	242,260 円
10 月	実利用人数	43 名	延利用回数	168 回	利用金額	228,120 円
11 月	実利用人数	50 名	延利用回数	205 回	利用金額	197,180 円
12 月	実利用人数	48 名	延利用回数	235 回	利用金額	219,140 円
1 月	実利用人数	45 名	延利用回数	155 回	利用金額	186,100 円
2 月	実利用人数	48 名	延利用回数	183 回	利用金額	178,860 円
3 月	実利用人数	47 名	延利用回数	181 回	利用金額	225,740 円
- ・合計 月平均 44.41 名 延利用回数 2,328 回 利用金額 2,500,900 円
- ・行き先別延回数
津別町内 1,548 回 美幌町 483 回 北見市 274 回 網走市 23 回

給食サービス事業

週2回(火・金)ひとり暮らしの在宅者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図る。

(実績と評価)

- 【年間の利用者数】 実人数 81人 延べ人数 733人 月平均 61人
- 【年間の食数】 弁当 5,114食
月平均 426食
- 【年間のボランティア数】 実人数 19人 延べ人数 618人

月	回数	利用者 実人数	食数		ボランティア数	
			お弁当	みそ汁	実人数	延べ人数
4月	8	63	388	34	17	48
5月	9	60	431	32	18	54
6月	8	58	433	31	18	54
7月	8	58	383	29	17	48
8月	9	56	411	31	18	54
9月	9	59	410	31	17	54
10月	9	58	417	32	17	54
11月	9	61	392	28	19	48
12月	9	61	459	45	17	54
1月	8	65	437	56	16	48
2月	8	67	450	60	17	48
3月	9	67	503	52	18	54
計	103	平均 61	5,114	461	平均 17	618

※年末のおせち 53食

- ・利用者数が増えてきている。1人が月に3~4回活動している状況である。ボランティアの負担を軽減のため新たな担い手を探す必要がある。
- ・給食サービス利用者・ボランティア交流会
令和5年12月26日

ふれあい郵便事業

町内在住の80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月1回自治会協力者、郵便配達員が手渡しで配布し、安否の確認と不安の解消を図るため実施。

1、配布状況

月	自治会配布枚数	郵便局他配布枚数	合計
4月	65	103	168
5月	65	103	168
6月	65	103	168
7月	65	103	168
8月	60	102	162
9月	60	100	160
10月	62	100	162
11月	65	98	163
12月	65	107	172
1月	64	108	172
2月	64	107	171
3月	61	106	167
計	761	1,240	2,001

2、配布協力自治会（10自治会）

自治会名	枚数	自治会名	枚数
新町	48	高台町	18
旭町第1	12	緑町第1	39
旭町第2	119	共和第3	106
旭町第3	143	共和第4	74
柏町	66	豊永第3	136

3、活動日 第3月曜日 13:00～

地域老人懇談会助成事業

地域福祉活動を推進するため、自治会単位で高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成をする。

- ・対象者は70歳以上の方
- ・20名までは1名1,000円、21名から1名500円

実績 10自治会（東達美、活汲中央、共和第2、幸町、達美町、豊永第3
新町、緑町第1、本町、柏町）

助成金合計 189,000円

あんしん電話（緊急通報装置）の推進

・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置の設置を推進する。

1、令和5年度の設置者

4名 ※新規申込みなし

2、装置使用料金の助成

- ・月額使用料 380円
- ・助成金額 1ヶ月180円

3、斡旋機種

シルバーフォンあんしんS

【取り扱い業者】

NTT東日本 北海道 北見支店

介護器具の貸出事業

障がい等により介護器具が必要な方に車イスの貸出を行う。

- ・貸出期間 1ヶ月以内
 - ・利用料 無料
- ※長期間（1ヶ月以上）必要な方には、業者を斡旋する。

介 護 サ ー ビ ス 事 業

- ・訪問介護事業、訪問入浴介護事業及び障害福祉サービス事業を実施し、介護利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、予防給付者の自立支援に向けたサービスの提供に努めた。

1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業

利用者数 延 691 人 回数 4,770 回 時間 4,888 時間

2. 訪問入浴・介護予防訪問入浴

利用者数 延 0 人（実人数 名） 回数 0 回

3. 障害福祉サービス事業

利用者数 延 50 人 回数 408 回

- ・町から委託を受けた、安否確認訪問事業、生活援助員派遣事業を実施し、介護保険サービスを受けることができない方に対して、声掛けなどをおこない不安解消に努めた。

1. 安否確認訪問（介護予防把握事業） 67 件（1 件 915 円）

2. 安否確認訪問（認知高齢者見守り事業） 26 件（1 件 915 円）

・ミーティング 毎月 1 回

・内部研修 毎月 1 回

4 月 働きやすい事業所づくり・排尿にまつわるトラブル

5 月 認知症予防 ～ 脳トレ ～

6 月 行動援護について

7 月 強度行動障害の理解、困っていることの理解

8 月 訪問時の移動・安全運転について

ホームヘルプサービス研究発表会（オンデマンド）

9 月 訪問介護でできる医療行為

10 月 消防研修 ～ 消火器の使用方法・AED の使用法 ～

11 月 ACP の取組「人生会議」と「在宅医療」

12 月 高齢者虐待とは（高齢者虐待防止促進研究会報告）

1 月 訪問に役立つ調理（計画編）

2 月 調理実習 ～ 訪問時に出来る工夫 ～

3 月 今年度の反省と次年度の予定

(会議・研修会等参加状況)

■介護サービス事業者連絡会議 毎月1回(原則10日) 健診ホール

■行動援護従事者研修(オンライン) 多目的活動室

令和5年5月18日(木) オリエンテーション 村松主任

令和5年6月6日(火)～7日(水) 村松主任(前期)

令和5年7月1日(土)～2日(火) 村松主任(後期)

令和5年8月10日(木) オリエンテーション 青山副主任

令和5年8月26日(土)～8日(日) 青山副主任(前期)

令和5年9月12日(火)～13日(水) 青山副主任(後期)

■高齢者ケアマネジメント学習会

令和5年9月26日(火) 15:30～17:00 健診ホール

参加者 村松主任、溝渕ヘルパー

■津別町医療・介護・福祉専門職のための学習会

令和5年9月26日(火) 18:30～20:00 健診ホール

参加者 村松主任、青山副主任、小泉ヘルパー、溝渕ヘルパー

■津別町高齢者虐待対応研修

令和5年10月6日(金) 15:30 大会議室 青山副主任

■美幌町・津別町タウンミーティング

令和5年10月28日(土) 13:30～16:15 美幌町 村松主任

■障害・介護集団指導(オンライン)

令和5年11月10日 10:00～16:00 山口主事

■北海道ホームヘルプサービス協議会幹事会(ZOOM会議)

令和6年3月7日(木) 15:30～17:00 門脇次長

■北海道ホームヘルプサービス協議会 上川・留萌・網走地区別資質向上研修

令和6年3月23日(土) 旭川市 門脇次長

～ 介 護 保 險 事 業 ～

◆訪問介護・介護予防訪問介護・訪問入浴介護実績（人数、回数、時間）

【訪問介護・介護予防訪問介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	人数	8	8	8	9	10	10	10	10	8	9	10	10	110
	回数	30	35	31	34	45	39	40	40	32	31	39	37	433
	時間	30	35	31	34	45	39	40	40	32	31	39	37	433
要支援 1	人数	10	12	12	12	12	9	9	12	12	13	13	12	138
	回数	55	69	70	67	65	44	45	58	72	64	67	59	735
	時間	55	69	70	67	65	44	45	58	72	64	67	59	735
要支援 2	人数	7	7	7	7	7	7	6	6	7	7	7	7	82
	回数	42	48	47	44	47	46	33	38	34	33	41	38	491
	時間	42	48	47	44	47	46	33	38	34	33	41	38	491
介護1	人数	20	19	20	19	23	24	21	23	23	22	23	25	262
	回数	163	196	175	153	224	228	161	178	176	171	183	201	2209
	時間	165	207.5	184	151.5	223	237	159.5	188.5	177.5	169	184	206	2252.5
介護2	人数	5	4	6	5	4	4	4	4	5	5	4	4	54
	回数	53	56	69	47	34	34	29	28	31	40	41	39	501
	時間	57.5	58.5	65.5	53	40.5	44.5	37.5	34	39	49	50.5	48.5	578
介護3	人数	2	3	3	4	4	3	3	3	3	2	2	2	34
	回数	16	22	23	39	31	21	27	28	24	15	20	16	282
	時間	16	22	22.5	33	30	21.5	27.5	28	23.5	15.5	20.5	16	276
介護4	人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
	回数	8	9	9	9	9	8	9	9	8				78
	時間	8.5	9	9.5	9	9.5	9	9.5	9.5	8				81.5
介護5	人数							1	1					2
	回数							32	9					41
	時間							32	9					41
合計	人数	53	54	57	57	61	58	55	60	59	58	59	60	691
	回数	367	435	424	393	455	420	376	388	377	354	391	390	4770
	時間	374	449	429.5	391.5	460	441	384	405	386	361.5	402	404.5	4888

【訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	人数													0
	回数													0
	人数													0
	回数													0
合計	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■年度別介護保険事業実績状況

年度	介 護	入 浴	合 計	年度	介 護	入 浴	合 計
H12年	7,639,450	2,157,810	9,797,260	H24年	18,448,662	1,007,728	19,456,390
H13年	6,410,560	1,911,970	8,322,530	H25年	16,272,166	1,468,233	17,740,399
H14年	8,889,170	1,813,070	10,702,240	H26年	15,003,051	1,693,493	16,696,544
H15年	13,270,840	1,581,310	14,852,150	H27年	18,919,450	569,378	19,488,828
H16年	14,252,410	2,902,410	17,154,820	H28年	22,851,805	1,282,300	24,134,105
H17年	12,279,270	1,991,050	14,270,320	H29年	23,469,960	725,890	24,195,850
H18年	11,660,920	1,451,200	13,112,120	H30年	20,065,424	1,101,470	21,166,894
H19年	11,364,240	1,135,700	12,499,940	R元年	19,941,062	858,330	20,799,392
H20年	14,330,830	776,300	15,107,130	R2年	22,124,360	72,393	22,196,753
H21年	12,780,180	345,010	13,125,190	R3年	22,872,404	44,480	22,916,884
H22年	13,789,360	129,380	13,918,740	R4年	21,254,999	0	21,254,999
H23年	14,887,000	431,250	15,318,250	R5年	20,483,722	0	20,483,722